



SDGs 目標16 「平和と公正をすべての人に」

『ガベル』は、^{さいばん}裁判や^{ぎかい}議会などで用いられる^{もち}儀礼用の^{ぎれいよう}小型の^{こがた}木槌の^{きづち}ことです。アメリカにおいては^{ぎかい}議会や^{ほうてい}法廷で用いられる^{もち}一般的な^{いっぱんてき}なものですが、^{せかいてき}世界的にはオークションで^み見ることができます。

^{ちゅういかんき}注意喚起や、^{さいてい}裁定や^{せんげん}宣言の^{くぎ}区切りを示す^{しめ}ためにも^{しょう}使用され、^{さいばんちよう}裁判長（^{ぎちよう}議長）の^{けんげん}権限と^{けんり}権利を^{しょうちよう}象徴するものでもです。^{だげきいた}打撃板と^{へいよう}併用され、^{たた}叩いた^{さい}際の^{おと}音の^{ひび}響きを^{こう}向^{じよう}上させています。

^{かいぎ}会議で『ガベル』を^{もち}用いるようになったのは1789年^{ねんはる}春に^{だい}ニューヨークで^{いっかい}第1回^{じよういんぎかい}目の^{ひら}上院^{さい}議会が開かれた^{ふくだいとうりよう}際に^{もち}ジョン・アダムス^{ゆらい}副大統領が^{いらい}用いたことに由来するとされます。それ以来、『ガベル』で^{えんだい}演台や^{つくえ}机を^{たた}叩いて^{かいかい}開会を示すのが^{しめ}通例となりました。また、^{へいかい}閉会や^{ぎじよう}議場を^お落ちて^つ着かせて^{ちつじよ}秩序を保つ^{たも}目的にも^{もくてき}使用されています。



福富町在住 長東治郎様より
寄贈された『ガベル』